広島県教育委員会　NEWS RELEASE

広島ならではの学びを通じて、
一人一人の個性や能力を見いだし、伸ばし、生きる力を育む

報道提供資料
令和８年11月６日
学校名　広島県立広島工業高等学校
担当者　教頭　齊藤
電　話　082-254-1421

学校名　広島県立福山工業高等学校
担当者　教頭　久永
電　話　084-922-0261

「第26回高校生ものづくりコンテスト全国大会」に出場します。

～県立広島工業・福山工業高等学校が全国の舞台で日本一を目指します！～

令和８年 11 月 14 日（土）～16 日（月）に北海道地区で「第 26 回高校生ものづくりコンテスト全国大会」（公益社団法人全国工業高等学校長協会主催）が開催されます。

広島県立広島工業高等学校及び広島県立福山工業高等学校の生徒が、中国地区代表として、旋盤作業、木材加工、測量の３部門に挑みます。

全国の舞台で、日頃の学習や練習で磨いてきた技術・技能を発揮する生徒たちを、ぜひ応援してください。

１　出場生徒等について

部門	学校名	学科・学年	生徒名（ふりがな）
旋盤作業	県立広島工業高等学校	機械科・第３学年	茅木　青空（かやき　あおぞら）
木材加工	県立福山工業高等学校	建築科・第３学年	工藤　大地（くどう　たいち）
測量	県立広島工業高等学校	土木科・第２学年	尼子　大喜（あまご　ひろき） 海切　陽斗（かいきり　はると） 山村　悠真（やまむら　ゆうま）

※測量部門は３名１チームで出場します。

２　第26回高校生ものづくりコンテスト全国大会について

(1)　概要

各高等学校で取り組んでいるものづくりの学習成果の発表の場として、全国の高校生が一堂に会し、技術・技能を競い合う全国大会です。

旋盤作業、自動車整備、電気工事、電子回路組立、化学分析、木材加工、測量、溶接の８部門で実施されます。

(2)　日時

令和８年11月14日（土）～16日（月）※競技日程は部門によって異なります。

(3)　会場（本県出場部門のみ）

部門	会場
旋盤作業	北海道職業能力開発大学校
木材加工	北海道釧路工業高等学校
測量	北海道帯広工業高等学校


旋盤作業


木材加工


測量

３　取材について

取材を希望される場合は、事前に各学校へ御連絡ください。

旋盤作業

自動車整備

溶接

電気工事

測量

電子回路組立

木材加工

化学分析

第26回 高校生ものづくりコンテスト全国大会

日 程：令和８年11月14日（土）、15日（日）

部門及び会場：旋盤作業：北海道職業能力開発大学校
電気工事：北海道旭川工業高等学校
化学分析：北海道札幌琴似工業高等学校
測　　量：北海道帯広工業高等学校
自動車整備：専門学校北海道自動車整備大学校
電子回路組立：北海道苫小牧工業高等学校
木材加工：北海道釧路工業高等学校
溶　　接：苫小牧高等技術専門学院（MONOテク苫小牧）

主 催：公益社団法人 全国工業高等学校長協会
主 管：北海道地区工業高等学校長会
共 催：北海道教育委員会（申請予定）
後 援：文部科学省、経済産業省、厚生労働省、国土交通省、農林水産省、(公財)産業教育振興中央会、(公財)日本自動車教育振興財団
中央職業能力開発協会、(一社)日本溶接協会(申請予定、順不同)

ポスター制作：東京都立工芸高等学校　グラフィックアーツ科　増渕 月

第26回高校生ものづくりコンテスト全国大会実施要項

１　趣旨

近年、若者の製造業離れが進み、ものづくりの技術・技能の継承が危ぶまれている。我が国の持続的発展を維持するためには、産業を支える技術・技能水準の向上を図るとともに、若年技術・技能労働者を確保し、育成することが急務である。

公益社団法人全国工業高等学校長協会（以下「全工協会」という。）では、各高等学校で取り組んでいる、ものづくりの学習成果の発表の場として、全国の高校生が一堂に会して、技術・技能を競い合う全国的な大会を企画し、これまでに24回開催した。第12回大会からは、全国９地区を順番に開催しており、今回は北海道地区で、旋盤作業、自動車整備、電気工事、電子回路組立、化学分析、木材加工、測量、溶接の８部門において実施する。

２　日程

第１日　令和８年(2026年)11月14日（土）

９時00分　関係者集合
９時30分　会場等準備
12時00分　受付
12時30分　部門ごと打合せ（説明、練習作業等）
15時00分　来賓・審査員受付
16時00分　開会式
17時00分　解散

第２日　令和８年(2026年)11月15日（日）

８時00分　関係者集合
８時20分　受付
９時00分　競技開始
11時30分　競技終了、片付け、昼食
14時30分　閉会式、記念撮影
15時30分　解散、後片付け

※　なお、旋盤作業部門は11月14日（土）から16日（月）までの３日間で開催するものとし、詳細は旋盤作業部門実施要項を参照のこと。

３　会場

(1) 開・閉会式　各競技会場

(2) 競技会場

部　門	会　場
旋盤作業	北海道職業能力開発大学校 〒047-0292 北海道小樽市銭函3-190　TEL 0134-62-3553
自動車整備	専門学校北海道自動車整備大学校 〒007-0892 北海道札幌市東区中沼西２条１-12-25　TEL 011-790-1205
電気工事	北海道旭川工業高等学校 〒078-8804 北海道旭川市緑が丘東４条１－１－１　TEL 0166-65-4115
電子回路組立	北海道苫小牧工業高等学校 〒053-0035 北海道苫小牧市字高丘6-22　TEL 0144-36-3161
化学分析	北海道札幌琴似工業高等学校 〒063-0833 北海道札幌市西区発寒13条11-3-１　TEL 011-661-3251
木材加工	北海道釧路工業高等学校 〒085-0821 北海道釧路市鶴ヶ岱3-5-1　TEL 0154-41-1285
測　量	北海道帯広工業高等学校 〒080-0872 北海道帯広市清流西2-8-1　TEL 0155-48-5650
溶　接	北海道立苫小牧高等技術専門学院（MONOテク苫小牧） 〒053-0052 北海道苫小牧市新開町4-6-10　TEL 0144-55-7007

４　主催　公益社団法人全国工業高等学校長協会

５　主管　北海道地区工業高等学校長会

６　共催　北海道教育委員会

７　後援　文部科学省　経済産業省　厚生労働省　国土交通省　農林水産省　(公財)産業教育振興中央会
(公財)日本自動車教育振興財団　中央職業能力開発協会　(一社)日本溶接協会　　(順不同)

８　参加資格

(1) 全工協会会員校に在籍し、卒業後の進路先を報告できる生徒とする。

(2) 次の保険に加入していること。なお、②、③の費用については、主催者が負担する。

① 独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済
② 産業教育振興中央会賠償責任保険
③ 産業教育振興中央会傷害保険

９　競技部門及び生徒

(1) 競技部門及び出場選手数

部　門	出場選手数		
	各地区選出	開催地選出	計
旋盤作業	9	1	10
自動車整備	9	1	10
電気工事	9	1	10
電子回路組立	9	1	10
化学分析	9	1	10
木材加工	9	1	10
測　量	27（9組）	3（1組）	30（10組）
溶　接	9	1	10
合　計	90名	10名	100名

(2) 出場者の決定

① 出場者は、全工協会が組織する全国９地区及び開催地の校長会から推薦された生徒とする。その選出方法は、該当校長会に一任する。

② 各地区及び開催地から推薦できる出場者を、令和８年(2026年) ９月18日（金）までに、所定の用紙を用いて大会実行委員長まで報告すること。

10　表彰

(1) 各賞の表彰は、部門ごとに行うものとし、全工協会理事長賞を授与する。ただし、各省庁、(一社) 日本溶接協会、(公財) 産業教育振興中央会については申請予定としている。

また、各部門の第１位から第３位は、評価結果を公表し表彰する。それ以外は総合点だけ公表する。

(2) 各部門の第１位から第３位は、ジュニアマイスター顕彰制度の得点として申請することができる。

(3) 各部門の第４位以下については、敢闘賞を授与する。

11　審査

(1) 審査基準の策定と公表

① 審査基準は、事前に策定し公表する。

② 審査員は、審査基準に従い審査判定する。

③ 同点の場合の優先順位は、あらかじめ協議しておく。

(2) 審査員

審査員は、企業の技術者、学識経験者などに委嘱するものとし、各部門３名を基本とする。

12　費用

(1) 大会参加費は無料とする。

(2) 次のように補助金を支給する。ただし、引率教員への補助は行わない。

① 交通費は、一定の割合額を補助する。

② 宿泊費は、一定額を補助する。

13　競技規定

(1) 各競技とも課題に併記する。

(2) 全工協会のWebページに掲載する。

14　その他

宿泊場所は、各自で手配する。

15　問合せ

(1) 公益社団法人全国工業高等学校長協会

（〒102-0072　東京都千代田区飯田橋2-8-1、TEL 03-3261-1500、FAX 03-3261-2635）

(2) 大会実行委員長　北海道札幌工業高等学校　校長　諸橋　宏明

（〒060-0820　北海道札幌市北区北20条西13丁目、TEL 011-727-3341、FAX 011-727-3344）

(3) 大会事務局長　北海道札幌工業高等学校　副校長　佐藤　靖敏

（〒060-0820　北海道札幌市北区北20条西13丁目、TEL 011-727-3341、FAX 011-727-3344）

・運営等に関する問合せ　　monocon-sakko@hokkaido-c.ed.jp

・競技課題に関する問合せ　　monocon-sakko-qa@hokkaido-c.ed.jp

※　問合せについては、公開している「第26回高校生ものづくりコンテスト全国大会に関する問合せについて」に基づいて行うこと。